

三重県内初！

2020東京オリンピック・パラリンピック 事前キャンプ地誘致の意思表示



平成27年12月18日

事前キャンプ地誘致の経緯

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会において『Tokyo2020事前トレーニング(キャンプ)に関する国内キャンプ候補地ガイド(紹介リスト)』を作成することを公表

平成27年1月15日からキャンプ受入先施設・競技の募集開始

三重県知事と津市長による1対1対談

平成27年8月18日開催

鈴木知事より、『全国規模のイベント開催につなげるためにも、津市と県で協力して事前キャンプ地を津市産業・スポーツセンターに誘致していきましょう』と提案された

津市スポーツ協会を通じ、各スポーツ団体へ誘致希望の意向確認

津市バスケットボール協会、津市フェンシング協会、津レスリング協会、津卓球協会、津市ハンドボール協会の5団体から誘致希望の意思表示を受けた

事前キャンプ地誘致への意思表示

2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックの
事前キャンプ地の誘致に向け、
三重県を通じ、組織委員会に対して、

平成27年12月11日付けで、『Tokyo2020
事前トレーニング(キャンプ)情報提供並びに
キャンプ地決定時における受け入れに係る
意思表示申請書』を三重県内で初めて提出

対象施設

津市産業・スポーツセンター「サオリーナ」

希望競技

5競技「バスケットボール、フェンシング、
レスリング、卓球、ハンドボール」

事前キャンプ地の誘致方法

方法①

組織委員会を通じて各国のオリンピック委員会、パラリンピック委員会へ情報提供する方法

組織委員会が作成する国内キャンプ候補地ガイドに登録(情報提供)を行い、各国選手団からキャンプ候補地に対し、照会・交渉を行う

組織委員会の費用で幅広く情報が行き渡るというメリットがある

方法②

組織委員会以外のルートを通じてアプローチする方法

各自治体から各国選手団に対して、直接的または間接的に独自のルートを通じて個別にアプローチ・情報提供を行う

組織委員会を通じて提供可能な情報量に比べて、直接提供できる情報量が多いというメリットがある

津市は、幅広く情報提供が行えるよう、組織委員会を通じた誘致方法①を選択

事前キャンプ地受け入れのメリット

❗ 津市の情報発信・PR

国内キャンプ候補地ガイドに掲載・紹介されることでメディアを通じて公表される可能性もあり、津市が広く認知される

❗ 市民とオリンピックとの交流

練習の一般公開やオリンピックによるトークショーの開催など相手国・選手との触れ合いを通じた国際交流や青少年の育成が見込まれる

❗ 地域の活性化

地域力の増進、経済波及効果などが期待される

事前キャンプ地誘致を通して、津市のPRとともに、
スポーツ振興・地域の活性化へ繋げる

事前キャンプ地誘致に向けたフロー

① キャンプ地決定時における受け入れに係る意思表示

国内キャンプ候補地ガイド情報(施設・競技情報など)を申請

② 練習施設等の技術要件の適合確認

表明した競技の練習施設・競技用具が国際競技連盟(IF)の技術要件に適合しているかどうかを国内競技連盟が確認

③ 事前キャンプ候補地ガイドに掲載・公表



練習施設、宿泊施設等必要情報のガイド掲載登録

組織委員会による国内キャンプ候補地ガイド掲載の決定

各国のオリンピック委員会・パラリンピック委員会へ事前キャンプ候補地としての情報提供を開始(平成28年8月頃)

平成28年1月29日開始



ボートレース津 外向発売所 津インクルで 1日最大6競走場の勝舟投票券を発売



平成27年12月18日

津インクルでの舟券発売



津インクルオープン 平成23年9月10日 以降

これまで 1日最大4競走場48レースを発売

勝舟投票券発券機の更新により、
発券処理機能がアップ！

更新後 平成28年1月29日から

1日最大6競走場72レースの発売が可能に

6競走場以上の発売は、全国24競走場の外向発売所の中で7番目

発売機器等更新の内容

区分	更新前	更新後	増減
勝舟投票券発券機	10	10	±0
両用機(発券機兼払戻機)	3	7	+4
払戻機(※両用機として更新)	2	0	-2
合計	15	17	+2

区分	更新前	更新後	増減
映像モニター	16	24	+8
レース状況案内映像モニター	0	2	+2

事業費

約1億1,300万円



勝舟投票券発券機



両用機(発券機兼払戻機)



映像モニター

メリット①

多くのレースの中からお好みのレースの勝舟投票券の購入が可能に！

メリット②

モーニングレースからデイレース、ナイターレースまで楽しめる！

メリット③

G1レースや女子レースなど同日開催のため、今まで買えなかったレースも購入可能に！

年間 約1,300万円 の増益を目標！

年間収益見込み:約11億1,700万円が約11億3,000万円にアップ

勝舟投票券発券機器等の更新のため、
本場及び津インクルを **休館** します

平成28年1月14日(木)～28日(木) 15日間

ファンの皆さまには御迷惑をお掛けいたします
御理解・御協力をお願いいたします

新春レース

12月29日(火)～1月3日(日)



12/29 ドリーム戦出場選手インタビュー
12/31 年末大プレゼント抽選会
イベント盛りだくさん♪

1月1日(金・祝)

- 三重支部選手新年挨拶
- 2015ベストレーサー表彰
- 場内アテンダント愛称発表



1月2日(土)

- 結城さおり歌謡ショー



1月3日(日)

- お年玉プレゼント
- 優勝戦出場選手インタビュー

●おしるこふるまい
(先着1,000名)

1月9日(土)

ご当地キャラ大集合!

ツッキーのお友達の14キャラが集合!

キャラとあそぼう♪ キャラとおどろろ♪



津ぎょうざふるまい(先着500名様)

伊勢志摩サミット応援事業 伊勢志摩サミット三重県民会議

ご当地大集合サミット



第2回津ぎょうざ小学校大運動会

レース開催期間:平成28年1月8日(金)~1月11日(月・祝)

inボートレース津

地域を元気にする
「ご当地」が大集合!

1月10日(日)



ご当地グルメでまちおこしの祭典!

B-1グランプリ

~B-1グランプリコーナー~

食を通じたまちおこし6団体が大集合!



津軽三味線全国大会優勝
駒田早代さん演奏

1月11日
(月・祝)

戦国武将サミット 新春ボートレース津の陣

甲冑体験
武将隊おもてなしタイム
武将隊演武会



勢州津高虎隊



津ぎょうざ小学校

亀山みそ焼きうどん本舗

四日市とんてき協会

名張牛汁協会

Doit!松阪鶏焼き肉隊

甲府鳥もつ煮でみなさまの
縁をとりもつ隊

津市長が選ぶ 平成27年市政の10大ニュース



平成27年12月18日

津市長が選ぶ平成27年市政の10大ニュース一覧

1 つうぽっぽ、げいのう わんぱーく
オープン

2 消防救急デジタル無線・
高機能消防指令センター運用開始

3 いくしみの杜 業務開始

4 地域懇談会スタート

5 職務経験者採用の職員15人入庁

6 市久居庁舎 ポルタひさいへ移転

7 県道一志美杉線矢頭トンネル開通

8 中勢バイパス津(野田～久居)
工区開通

9 久居中央スポーツ公園内プール
リニューアルオープン

10 「津ぎょうざ小学校」
B-1グランプリ3位入賞

1 つうぽっぽ、げいのう わんぱーく オープン

つうぽっぽ

4月1日、旧櫛形幼稚園舎を改修し、児童福祉法に基づく通所施設として、児童発達支援センター「つうぽっぽ」を開設

整備費

2億1,523万円



つうぽっぽ(分部地内)

げいのう わんぱーく

4月4日、市芸濃庁舎の芝生広場を活用し、子育て支援センターを併設する全天候型親子遊び空間「げいのう わんぱーく」を開設

整備費

1億9,568万円



げいのう わんぱーく(芸濃町棕本地内)



来館者数累計
3万6,857人
(11月末現在)

2

消防救急デジタル無線・高機能消防指令センター運用開始

電波法の改正により、消防救急無線をアナログ方式からデジタル方式へ移行（4月1日 県下初の運用開始）

整備費 13億1,551万円

消防救急デジタル無線

火災・救急・救助などの消防業務に必要な通信連絡体制を統制するデジタル無線システムを導入



車両端末装置

高機能消防指令センター

119番通報を受け、出動車両の自動編成、出動指令を行う高度な情報通信システムを導入



消防指令センター(消防本部内)

3 いくくしみの杜 業務開始

4大プロジェクト事業の一つである新斎場「いくくしみの杜」が
1月2日から業務開始



いくくしみの杜(半田地内)

整備費 26億6,722万円



- 民間活力を活用したPFI手法により整備
- 経ヶ峰を望む敷地を津の海と捉え、建物は翼を広げた鳥を表現するなど、津の情景をデザイン

4 地域懇談会スタート

「即答・即応し実現する市役所」として、地域の課題や望みを直接伺い、その解決に向けて一歩でも前に進めていくため、10月1日から**地域懇談会**をスタート

地域懇談会 市内37地区で開催



地域懇談会の様子

半年に1回開催
地域からいただいた声を
曖昧にしない

地域と行政が真に連携し、課題を
解決し、まちづくりを行っていきける
関係づくりを

5 職務経験者採用の職員15人入庁

新たに導入した採用制度により、4月1日付けで
職務経験者採用の職員15人が入庁

事務職 11人、技術職(土木) 2人、技術職(建築) 2人 計15人



職務経験者採用の15人の職員

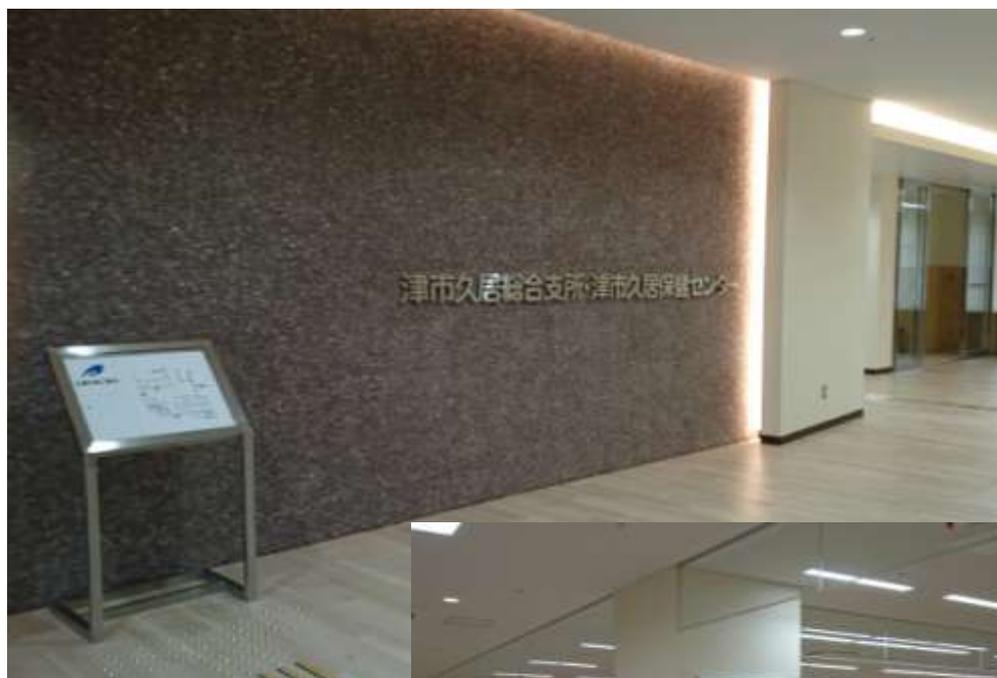
津市におけるメリット

- ▶ 即戦力として活躍
- ▶ 複雑・多様化する行政ニーズへの対応
- ▶ 組織力の強化・組織風土の活性化

市民サービスの更なる向上

6 市久居庁舎 ポルタひさいへ移転

1月1日、市久居庁舎をポルタひさいへ移転し、久居総合支所、久居保健センター、津南工事事務所の市民サービス機能を集約



広くなった久居保健センター

授乳室と子ども用トイレ



庁舎の1階フロア

市民が利用しやすい施設整備

- ▶ 市民課、福祉課、生活課、保健センターを1階フロアに配置し、ワンストップサービス機能を充実
- ▶ 保健センターのスペースは4.3倍に拡大、全室フローリング化 など

7

県道一志美杉線矢頭トンネル開通

8月17日、県道一志美杉線の一志町波瀬から美杉町下之川を結ぶ全長1,637mの**矢頭トンネルが開通**



開通した矢頭トンネル(美杉側坑口)

道路の幅員が狭く、急カーブ・急勾配が連続していた矢頭峠

矢頭トンネルの開通

安全な通行の確保
災害に強い道路機能の確保
地域の活性化

8 中勢バイパス津(野田~久居)工区開通

2月8日、中勢バイパスの津(野田)工区から津(久居)工区の7.9kmが開通

河芸町三行から木造町まで
(20.6km)を南北に貫く大動脈へ



津(河芸)工区完成【平成24年3月】



津(野田)工区 納所町交差点立体化【平成24年12月】



上空から見た津(久居)工区の様子【平成27年2月】

施設の老朽化が進んでいた久居中央スポーツ公園内プールを改修し、7月11日にリニューアルオープン



リニューアルしたウォータースライダー



幼児プールに滑り台を設置

整備費 1億3,426万円

過去5年間の 入場者数	H23	H24	H25	H26	H27
	26,859人	30,946人	33,743人	24,817人	38,019人

リニューアル後の入場者数は合併後最大！

10 「津ぎょうざ小学校」 B-1グランプリ3位入賞

10月3日、4日に青森県十和田市で
開催された B-1グランプリ第10回
大会で「津ぎょうざ小学校」が3位入賞



3位入賞を喜ぶ「津ぎょうざ小学校」の皆さん



行列ができた「津ぎょうざ小学校」
のブース

津ぎょうざを通じた
津の地域おこしに期待